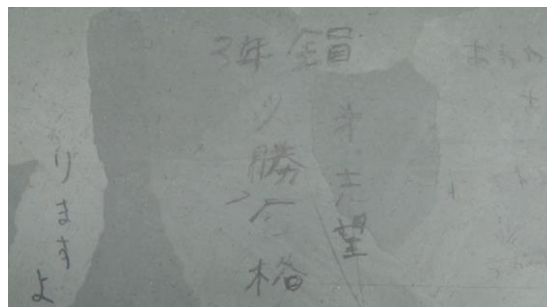


## 進路指導室から 第307号

### はじめに

12月も中旬に入りました。大学入学共通テストまであと1か月あまりです。

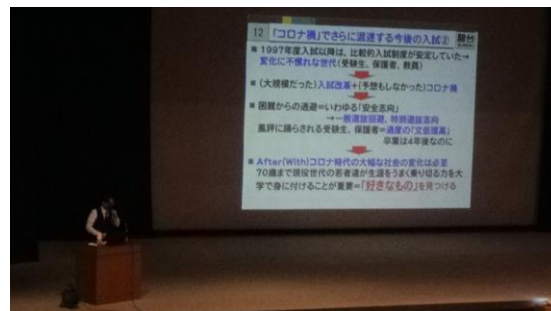
さて、基町高校の校舎が建てられてから21年目を迎えます。その間、多くの生徒たちがこの校舎で学校生活を送ってきました。3年生の教室に面した壁の片隅に、右のような落書きがあります。いつ、誰が書いたのかわかりません。でも、その思いは、今も変わらないと思います。



### 「第4回保護者対象進路研修会」について

12月5日（土）に、駿台予備学校広島校 教務マネージャー 泉尾淳太 様を講師としてお迎えし、「2021年度大学入試の動向について」をテーマに第4回保護者対象進路研修会を行いました。

当日は、約130名の参加がありましたが、泉尾様から、各大学の入試動向、そして、保護者の役割等についてお話していただきました。また、最後に学年主任の大橋先生から、先生が大学受験の思い出として、受験勉強の合間にリンゴを用意してくれた話を披露していただきました。大変有意義な会であったと思います。



以下で、当日の研修会の内容の一部を紹介します。

#### ■ 2021年度入試全般への注意

- 共通テストに変わること、変化が多そうだが、実際には現行のセンター試験のリニューアルチェンジ。
- ただし、初見の出題に覚悟しておくために、多様な素材（模試）での練習が効果的。
- 過去問演習だけではダメ。新作問題・新傾向問題の研究が必須。
- 共通テストの試行調査でも、2020年度センター試験でも読解力、思考力が要求される問題が目立った。
- 共通テストの難易度がアップし、センター試験よりも「できる・できない差」が開くので、演習量を確保できる受験生が有利になる可能性が強い。

#### ■ 2021年度大学入学共通テスト志願者数

	確定出願者数		増 減	増 減 率
	2021年度共通テスト	2020年度センター試験		
出願者総数	535,245	557,699	-22,454	-4.0%
現 役 生	449,795	452,235	-2,440	-0.55
既 卒 生 等	85,450	105,464	-20,014	-19.0

- 現役生は高卒者が約2%減少する中で微減にとどまった。コロナ禍を考慮して、私立大学入試でも特例利用が行われる可能性が高い共通テストへの出願指導があったことが考えられる。
- 既卒生等は20%近い大幅減少。近年では2015年度入試（新課程初年度）の12%を上回る減少。2020年度入試で入試改革初年度に浪人することを回避する志願動向があったことが強くうかがえる状況となった。  
⇒ 2021年度入試は現役生中心の入試に

#### □ 「目標」と「目的」の違い

- 「目的」：最終的に実現しよう、成し遂げよう、到達しようとするもの（抽象的なもの・めざし続けるもの）
- 「目標」：「目的」を達成するために設けられた目印（具体的なもの・達成できるもの）  
⇒ 大学合格はあくまで「目標」であり、大学進学については、「目指している大学は自分の「夢」や「目標」を叶えてくれる（可能性のある）大学なのか?」、「4年間（6年間）学び続けることができる大学な

のか？」を考える必要がある

■ 「受験校選定」のポイント：受験校選定、受験パターンを検討していく上での考え方として

- 「〇〇大学に行きたい！」と「大学」にこだわりがある場合  
⇒ 検討要素の一つとして、同大学内で「学部」や「学科」を変更しての受験も視野に入れることで合格の可能性を高めていく
- 「医師になりたい」「〇〇の資格が欲しい」と「学部」や「系統」にこだわりがある場合  
⇒ 検討要素の一つとして、  
「学部」「学科」をベースに、大学を変更することで、合格の可能性を高めていく  
例)「京都大学・薬学部」を軸に出願校を検討する場合

- 「京都大学」にこだわる場合  
⇒ 京都大学・理学部  
⇒ 京都大学・工学部・工業化学  
⇒ 京都大学・農学部・応用生命  
⇒ 京都大学・医学部・人間健康科

- 「薬学部」にこだわる場合  
⇒ 大阪大学・薬学部  
⇒ 九州大学・薬学部  
⇒ 広島大学・薬学部  
⇒ 徳島大学・薬学部

⇒ 「どこにこだわるのか」を中心に据えてしっかりと考えることが必要

□ 自己採点でミスをしている割合（教科別）

次の資料は、駿台高卒生（一部）が第1回駿台・ベネッセ共通テスト模試の受験した際に、自己採点と実際の得点でミスをした割合です。

〔自己採点でミスをしている割合〕

教科	2019	2020
国語	28.9%	38.1%
数学①	44.7%	54.4%
数学②	36.3%	46.5%
英語（リーディング）	34.1%	32.6%
英語（リスニング）	17.0%	48.1%
地歴公民	29.0%	33.1%
理科	26.5%	33.9%

【注目】

- リスニングの自己採点ミスの割合が急増。

【要因】

- ・ 「1回読み」が新設されたことで問題冊子に書き写す時間がなくなっている可能性が…。
- ・ 数学・理科・地歴公民についても問題文の増加により、センター試験の時より時間的余裕がないケースも。

⇒ 時間配分を考えながら、演習に取り組み、試験当日はミスがないよう細心の注意が必要

□ 保護者の役割

- 食事をはじめとする健康管理・体調面のサポート
- 受験校の方針があれば早めに本人に伝える
- 「ほめる」・「しかる」・「放任」のバランス ← 「ほどほどに喝を入れてほしい」
- 最も不安でプレッシャーを感じるのはやはり本人。動揺せず受けとめて、最良、最強の応援者（サポーター）としての役割
- 受験会場で戦うのは本人、くれぐれも代行をしないように

- 本人（主役：選手）  
勉強/情報収集/志望校決定/受験
- 学校（技術指導：監督）  
学習指導/受験情報の提供/進路指導
- 保護者（名脇役：サポーター）  
健康管理/生活習慣など生活面/冷静で客観的な視点/人生の先輩としての知恵を伝授/  
経済的な大枠を明示

終わりに

新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。広島県でも感染者が急増しています。基町高校は1000人を超える生徒が在籍しています。今後の行方が心配です。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）